

令和2年度(2020年度)用

小学校国語科用

「新しい国語」 年間指導計画作成資料 【3年】

令和2年(2020年)7月16日版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい国語」(第3学年)年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」,「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分をその内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第3学年及び第4学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語> 第3学年及び第4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。(「◇言語活動」においても同様)

[知識及び技能](1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

[思考力・表現力・判断力等]A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

3年				
月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	何をしているのかな 2時間(話聞2) 教科書:上巻 P.10～11	●互いの意見の共通点や相違点に着目し、同意したり質問したりして反応を示しながら話し合うことができる。 ◇二人一組で対話をする。 ----- 1 教科書の絵を見て想像したことを発表し、単元の学習の見通しを立てる。 2 教科書の対話例を役割音読し、気付いたことを話し合う。 3 絵を見て二人一組で対話をする。 4 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア ・相手を見て話したり聞いたりしている。(1)イ 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの意見の共通点や相違点に着目している。A(1)オ 【主】 ・これまでの学習や人と話し合った経験を生かして学習課題を明確にし、積極的に話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、想像したことについて対話をしようとしている。	
4	くらべてみよう 2時間(書2) 教科書:上巻 P.12～13	●目的を意識して、経験したことや想像したことから観点を見付け、比較することができる。 ◇三つのものについて、表に整理する。 ----- 1 単元の学習の見通しを立てる。 2 教科書 P.12 の表を見ながら、それぞれのおやつを比較する。 3 教科書 P.13 の表を用いて「あそび」を比較し、気付いたことを話し合う。 4 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・比較や分類の仕方を理解し、使っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりしている。B(1)ア 【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、積極的に、目的を意識して観点を見付け、比較して、表に整理しようとしている。	
4	物語を音読しよう すいせんのラッパ ・国語のノートの作り方 8時間(読6書2) 教科書:上巻 P.16～29 【言葉の力】 様子を思いうかべて音読をする ----- 【既習事項との関連】 人物の行動や会話を確かめ、様子や気持ちを考えて音読する。(2上「風のゆうびんやさん」)	●場面の様子を思い浮かべて物語を音読することができる。 ◇物語を音読する。 ----- つかむ 1 単元の学習の見通しを立てる。 取り組む 2 すいせんのラッパの音や、人物の様子を思い浮かべる。 3 音読したい場面を決めて、音読をする。 振り返る 4 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。C(1)エ ・「書くこと」において、目的を意識して、想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、これまでの学習を生かして、積極的に場面の様子を思い浮かべて物語を音読しようとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	図書館へ行こう 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.30～33 ----- 既習事項との関連 学校の図書館の利用の仕方 や、置かれている本について 理解する。(2上「としょかん へ行こう」)	●図書館の本が内容によって分類・配架され ていることを知り、本の探し方を確かめること ができる。 ----- 1 図書館の利用の仕方や図書館に置かれ ている本の並び方について確かめるという 単元の学習の見通しを立てる。 2 図書館のどの本棚にどのような種類の本 が置かれているかを確かめる。	【知・技】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な 知識や情報を得ることに役立つことに 気付いている。(3)オ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学 習課題を明確にし、学習の見通しを持 って、積極的に図書館の本が内容によ って分類・配架されていることを知り、 本の探し方を確かめようとしている。	・生活の中の読 書に生かす。 ・社会科や理 科、総合的な学 習などで調べる 学習を行う際に、 図書館の本を用 いて調べる。
4	国語じてんの使い方 3時間(知技3) 教科書:上巻 P.34～37	●国語辞典の仕組みや使い方を理解すること ができる。 ----- 1 学習の見通しを立て、教科書 P.34を見な がら国語辞典の仕組みと引き方を理解す る。 2 国語辞典の語の配列を知って、使い方に 慣れる。 3 活用のある語の見出し語の形を知る。 4 練習問題に取り組み、単元の学習を振 り返る。	【知・技】 ◎辞書や事典の使い方を理解し、使っ ている。(2)イ 【主】 ・学習課題に沿って、進んで国語辞典の 使い方を理解し使おうとしている。	
5	文章を読んで感そうをつ たえ合おう 自然のかくし絵 10時間(読7書3) 教科書:上巻 P.38～47 【言葉の力】 だん落の内ようをとらえる 【おさえる】 だん落 ----- 既習事項との関連 説明の順序を捉える。(2上 「たんぼぼ」)	●段落ごとに文章の内容を捉えることができ る。 ◇文章を読み、分かったことや考えたことを説 明する。C(2)ア ----- つかむ 1 学習の見通しを立てる。 取り組む 2 段落ごとの内容をまとめる。 3 感想を伝え合う。 振り返る 4 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・段落の役割について理解している。 (1)カ ・考えとそれを支える理由や事例、全体 と中心など情報と情報の関係について 理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、段落相互の関 係に着目しながら、考えとそれを支える 理由や事例との関係などについて、叙 述を基に捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、文章を読んで感 じたことや考えたことを共有している。 C(1)カ ・「書くこと」において、書く内容の中心を 明確にし、文章の構成を考えている。 B(1)イ 【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習 課題を明確にし、積極的に、段落相互 の関係に着目し、文章を読んで分かっ たことや考えたことを説明しようとしてい る。	・理科や社会科 で、調べるため の本や資料を読 むときに、段落を 意識して読み取 る。
5	漢字の表す意味 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.48～49	●複数の意味を持つ漢字があることを知り、そ の意味の違いについて理解することができ る。 ----- 1 複数の意味を持つ漢字があり、その意味 や使い方の違いを知るという学習課題を 確かめる。 2 一つの漢字が持っている複数の意味の違 いを理解する。 3 学習を振り返り、漢字の持つ複数の意味 やその違いについて理解したことを振り返 る。	【知・技】 ◎当該学年までに配当されている漢字 を読んでいる。(1)エ 【主】 ・学習課題に沿って、進んで、当該学年 までに配当されている漢字を読み、読 み、文や文章の中で使おうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	<p>メモを取りながら話を聞こう</p> <p>・こそあど言葉</p> <p>4時間(話聞4) 教科書:上巻 P.50～55</p> <p>【言葉の力】 だいたいなことを落とさず聞く</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 聞きたいことを落とさず聞く。 (2上「外国の小学校について聞こう」)</p>	<p>●話し手が伝えたいことの内容を捉えるために、話の組み立て方を意識して、必要なことを記録しながら聞くことができる。</p> <p>◇情報を集める。A(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 これまでの経験を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 教科書 P.51 のやりとり(D マークコンテンツ)を聞く。 3 教科書 P.52 の2つのメモ例を比べ、だいたいなことを落とさずに聞く方法について考える。 4 教科書 P.154 の話例を聞く。</p> <p>【振り返る】 5 自分が書いた2つのメモを比較する。 6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・指示する語句の役割について理解している。(1)カ ・必要な語句などの書き留め方を理解し、使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えている。A(1)エ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや人の話を聞いた経験を生かして学習課題を明確にし、工夫して、必要なことを記録しながら聞き、情報を集めようとしている。</p>	<p>・社会科で働く人の話を聞いて質問する。 ・話を聞いて、必要な情報のメモを取る。</p>
6	<p>調べて書こう、わたしのレポート</p> <p>・メモの取り方</p> <p>10時間(書10) 教科書:上巻 P.56～63</p> <p>【言葉の力】 調べて分かったことを伝える</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 観察したことを書く。(2上「かんざつしたことをかこう」)</p>	<p>●身の回りのことの中から知りたいことに応じた方法で調べ、書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。</p> <p>◇調べたことをレポートにまとめて報告する。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 単元の目的を理解し、学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 調べることを決める。 3 知りたいことに応じた方法で調べる。 4 レポートの組み立てを考える。 5 レポートを書き、グループで読み合う。</p> <p>【振り返る】 6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや読書経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで登場人物の行動や気持ち、起こった出来事などについて、叙述を基に捉えようとしている。</p>	<p>・理科や社会科で調べたことをレポートにまとめる。 ・目的に応じて調べる方法を選択し、情報を得る。</p>
6	<p>「あらすじカード」を作ろう</p> <p>はりねずみと金貨</p> <p>10時間(読6書4) 教科書:上巻 P.64～79</p> <p>【言葉の力】 あらすじをまとめる</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 物語の冒頭と結末を比較する。(2下「かさこじぞう」)</p>	<p>●登場人物の行動や気持ち、起こった出来事などについて、叙述を基に捉えることができる。</p> <p>◇物語を読み、あらすじをまとめて伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 「はりねずみと金貨」の登場人物と、起こった出来事を確かめる。 3 「あらすじカード」を作る。</p> <p>【振り返る】 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方などを理解している。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや読書経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、粘り強く、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、あらすじをまとめて伝え合おうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	ローマ字① 3時間(知技3) 教科書:上巻 P.80～85	●ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書くことができる。 ----- 1 簡単な単語をローマ字で読み書きするという学習課題を確かめる。 2 ローマ字の表記の原則を理解する。 3 ローマ字を書く際に気を付ける点を確認し、読んだり書いたりする。 4 身の回りにあるものや自分の名前などをローマ字で書き表す。ローマ字について理解したことを確認する。	【知・技】 ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ 【主】 ・学習課題に沿って、積極的に、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書こうとしている。	
6	慣用句を使おう 3時間(書3) 教科書:上巻 P.86～89	●慣用句について知り、意味や使い方を調べて、自分の表現の中で使うことができる。 ◇慣用句の意味を調べ、カードにまとめる。 ----- 1 単元の学習の見通しを立てる。 2 教科書に挙げられている慣用句の意味を国語辞典で調べ、カードにまとめる。 3 慣用句を使って短文を作り、グループで読み合う。 4 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。(3)イ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主】 ・学習課題に沿って、進んで、長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使おうとしている。	・スピーチや日記を書くときに慣用句を使う。
7	書き手のくふうを考えよう 「ほけんだより」を読みくらべよう 10時間(読7書3) 教科書:上巻 P.90～101 【言葉の力】 書き手のくふうを読み取る 【おさえる】 つたえたいことと取り上げることがら ----- 【既習事項との関連】 段落の内容を捉える。(3上「自然のかくし絵」)	●二つの「ほけんだより」を読み比べて、書き手の目的や意図に照らして文章の工夫や効果を読み取ることができる。 ◇二つの「ほけんだより」の文章を比べて、考えたことを伝え合う。C(2)ア ----- つかむ 1 学習課題を確かめ、単元の学習の見通しを立てる。 取り組む 2 二つの「ほけんだより」を読み比べる。 3 二つの文章の図表、吹き出しから読み取れることを考える。 4 どちらの文章を「ほけんだより」にするか選択する。 振り返る 5 単元の学習の振り返りをする。	【知・技】 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持ち、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にしている。B(1)ウ 【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、積極的に、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、二つの文章を比べて考えたことを伝え合おうとしている。	・報告文や紹介文を書く活動。 ・情報を比較する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	本は友だち 2時間(読2) 教科書:上巻 P.102～109	●読書の楽しさを知り、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。 ----- 1 学習のめあてを確かめ、教科書 P.102～103の文章を読む 2 教科書で紹介されている本などを参考にし、自分の興味関心に応じて、読みたい本を探して読む。	【知・技】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ 【主】 ・学習課題に沿って、進んで、幅広く読書に親しみ、興味のある本を選んで読んだり読書記録を付けたりしようとしている。	・生活の中の読書に生かす。 ・道徳や学級活動で学校図書館を活用する。
9	詩を読もう 紙ひこうき 夕日がせなかをおしてくる 2時間(読2) 教科書:上巻 P.112～115 ----- 既習事項との関連 詩を声に出して読み、詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しむ。(2上「いろんなおとのあめ／空にぐうんと手をのばせ」)	●場面の様子や人物の気持ちなどを具体的に想像することができる。 ◇詩を音読し、内容を説明したり考えたことなどを伝え合ったりする。C(2)イ ----- 1 単元の学習の見通しを立てる。 2 詩を音読し、想像したことや気づいたことについて話し合う。 3 それぞれの詩について音読の工夫を考え、グループで音読の練習をする。 4 学級で詩の音読を発表し合う。 5 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク 【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。C(1)エ 【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、進んで、詩の情景を具体的に想像し、音読しようとしている。	
9	グループの合い言葉をきめよう ・生活の中の言葉 7時間(話聞7) 教科書:上巻 P.116～125 【言葉の力】 司会の進行にそって話し合う 【おさえる】 なかま分け ----- 既習事項との関連 言葉をつないで話し合う。(2上「うれしくなることばをあつめよう」)	●司会の役割や話し合いの進め方を意識しながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 ◇互いの考えを伝えるなどして、グループで話し合う。A(2)ウ ----- つかむ 1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。 取り組む 2 議題について考え、自分の意見とその理由をカードに書き出す。 3 話し合いの進め方を確かめる。 4 グループで司会を立てて話し合う。 振り返る 5 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A(1)オ 【主】 ・これまでに学習したことや話し合いの経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、積極的に、司会などの役割を果たしながら、互いの意見の共通点や相違点に着目し、グループで話し合おうとしている。	・総合的な学習の時間等で、グループごとに調べることを決める。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>人物につたえたいことを まとめよう サーカスのライオン</p> <p>10時間(読7書3) 教科書:上巻 P.126～143</p> <p>【言葉の力】 中心人物を見つける</p> <hr/> <p>既習事項との関連 人物の行動や発言の理由を 考えて物語を読む。(2上「ニ ャーゴ」)</p>	<p>●登場人物の気持ちの変化や性格、情景に ついて、場面の移り変わりと結び付けて具 体的に想像し、物語の中心人物について考 えることができる。</p> <p>◇物語を読み、中心人物に伝えたいことを文 章にまとめて、考えたことなどを伝え合う。 C(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む 2 「サーカスのライオン」の中心人物がどの ような人物かを考える。 3 中心人物に伝えたいことを文章にまとめ る。</p> <p>振り返る 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語 句の量を増している。(1)オ</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動 や気持ちなどについて、叙述を基に捉 えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、登場人物の気 持ちの変化や性格、情景について、場 面の移り変わりと結び付けて具体的に 想像している。C(1)エ ・「書くこと」において、相手を意識して、 想像したことなどから書くことを選び、伝 えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや読書経験を 生かして学習課題を明確にし、学習の 見通しをもって、進んで、登場人物の気 持ちの変化や性格、情景について、場 面の移り変わりと結び付けて具体的に 想像し、中心人物に伝えたいことを文 章にまとめて伝え合おうとしている。</p>	
9	<p>くわしく表す言葉 ・ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3) 教科書:上巻 P.144～147</p> <hr/> <p>既習事項との関連 主語と述語の働きを理解す る。(2下「主語とじゅつ語」)</p>	<p>●様子を詳しく表す言葉を知り、文中の修飾・ 被修飾の関係を捉えることができる。</p> <hr/> <p>1 教科書 P.144 の女の子の話し方の問題点 を見つけ、学習課題を確かめる。 2 様子を詳しく表す言葉とその働きを確か める。 3 練習問題に取り組み、文の中で様子を 表す言葉を使う。 4 学習を振り返り、様子を 表す言葉の働きについて理解したことを確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表 す働きがあることに気付いている。(1)ア ・様子を表す語句の量を増し、言葉には 性質や役割による語句のまとまりがある ことを理解し、語彙を豊かにしている。 (1)オ ◎主語と述語の関係、修飾と被修飾との 関係を理解している。(1)カ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、積極的に、主語と 述語、修飾と被修飾との関係を理解し て、文の中で使おうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>想ぞうを広げて物語を書こう</p> <p>8時間(書8) 教科書:上巻 P.148～152</p> <p>【言葉の力】 設定を考えて物語を書く</p> <p>【おさえる】 物語の設定</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 つながりを考えてお話を書く。(2上「絵を見てお話を書こう」)</p>	<p>●設定を考えて、書く内容の中心を明確にし、段落相互の関係に注意して、文章の構成を考慮することができる。</p> <p>◇絵から想像を広げて、物語を書く。B(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 教科書にある①②④の絵を見て、起こった出来事や「物語の設定」について考えたことや想像したことを話し合う。</p> <p>3 ①②④の絵をもとに、③の場面ではどんな出来事が起こったのかを考え、あらすじを書く。</p> <p>4 「物語の設定メモ」やあらすじを基に物語を書く。</p> <p>5 書いたお話の発表会を開き、楽しいと思ったところや面白いと思ったところなどの感想を伝え合う。</p> <p>振り返る</p> <p>6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ 「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考え、物語を書こうとしている。 	
10	<p>パラリンピックについて調べよう</p> <p>パラリンピックが目指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 目次やさくいんを活用しよう <p>12時間(読8書4) 教科書:下巻 P.8～23</p> <p>【言葉の力】 要約してまとめる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 段落の内容を捉える。(3上「自然のかくし絵」)</p>	<p>●目的を意識して、中心となる語や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約することができる。</p> <p>◇事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する。C(2)ウ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 「パラリンピックが目指すもの」を読み、書かれていることを確かめる。</p> <p>3 パラリンピックについて調べることを決め、関連する本や資料を読む。</p> <p>4 調べたことをまとめてリーフレットを作成し、紹介し合う。</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解している。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。C(1)ウ 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。C(1)カ 「書くこと」において、目的を意識して書くことを選び、集めた情報を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、中心となる語や文を見付けて要約したり、事典や図鑑などから情報を得たりして分かったことをまとめて説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科や社会科で、事典や図鑑などから情報を得て分かったことをまとめて報告する。
11	<p>ローマ字②</p> <p>2時間(知技2) 教科書:下巻 P.24～25</p>	<p>●ローマ字の読み書きを確かめ、コンピューターでの入力に活用することができる。</p> <hr/> <p>1 ローマ字の表記について確かめる。</p> <p>2 コンピューターで日本語を入力するときにローマ字を活用できることを理解する。</p> <p>3 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題に沿って、積極的に、日常で使われている簡単な単語についてローマ字で書き、コンピューターの入力に活用しようとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価基準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>話したいな、わたしのすきな時間</p> <p>6時間(話聞6)</p> <p>教科書:下巻 P.26～29</p> <p>【言葉の力】 話の中心が伝わるように話す</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 紹介したいことが伝わるように話す。(2下「たからものをしょうかいしよう」)</p>	<p>●話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、組み立てを考えて話すことができる。</p> <p>◇自分のことについて話す。</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 話題を決めて、話す材料を集める。</p> <p>3 材料の中から話すことを選んで組み立てる。</p> <p>4 話す練習をする。</p> <p>5 みんなの前で発表する。</p> <p>振り返る</p> <p>6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・相手を見て話したり聞いたりしている。(1)イ</p> <p>・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話の中で使っている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。A(1)イ</p> <p>【主】</p> <p>・学習の見通しを持って、積極的に、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、自分のことについて話そうとしている。</p>	<p>・行事の感想を話す。</p>
11	<p>案内の手紙を書こう</p> <p>・あて名の書き方</p> <p>5時間(書5)</p> <p>教科書:下巻 P.30～35</p> <p>【言葉の力】 だいたいなことを手紙で伝える</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 手紙を書く。(2下「『ありがとう』をつたえよう」)</p>	<p>●相手に伝える必要があることを落とさずに書くとともに、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。</p> <p>◇行事を案内する手紙を書く。B(2)イ</p> <hr/> <p>つかむ</p> <p>1 単元の学習課題を捉え、学習の見通しを立てる。</p> <p>取り組む</p> <p>2 案内の手紙で必要な事柄と手紙の構成を考える。</p> <p>3 文章の敬体について知り、下書きをする。</p> <p>4 下書きを読み返し清書する。また、宛名の書き方を知る</p> <p>振り返る</p> <p>5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・これまでの学習を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整え、行事を案内する手紙を書こうとしている。</p>	<p>・学校の行事に身近な人を案内する。</p>
11	<p>漢字の読み方</p> <p>・ことばあつめ</p> <p>3時間(知技3)</p> <p>教科書:下巻 P.36～39</p>	<p>●漢字の音訓や送り仮名について理解する。</p> <hr/> <p>1 音訓や送り仮名に注意して漢字を正しく使うという学習課題を確かめる。</p> <p>2 漢字の音と訓、送り仮名について理解する。</p> <p>3 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>◎当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ</p> <p>・行動や気持ちを表す語句の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・学習課題に沿って、進んで、漢字の音訓や送り仮名などを理解しようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>想ぞうしたことをつたえ合おう</p> <p>モチモチの木</p> <p>12時間(読8書4)</p> <p>教科書:下巻 P.40～59</p> <p>【言葉の力】 人物のせいかくを想ぞうする</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 中心人物がどのような人物かを考える。(3上「サーカスのライオン」)</p>	<p>●文章を読んで中心人物の性格を想像して、感じたことや考えたことを共有することができる。</p> <p>◇物語を読み、考えたことなどを伝え合う。</p> <p>C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 豆太の性格を想像する。 3 豆太について想像したことを友達と伝え合う。</p> <p>【振り返る】 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使っている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。C(1)エ ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想を持っている。C(1)オ ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・学習の見通しを持って、文章を読んで理解したことに基づいて感想を持ち、考えたことなどを伝え合おうとしている。</p>	
12	<p>自分の考えをつたえよう</p> <p>・図や表を使う</p> <p>8時間(書8)</p> <p>教科書:下巻 P.60～67</p> <p>【言葉の力】 自分の考えとその理由を書く</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 説明する文章を書く。(2下「あそび方をせつ明しよう」)</p>	<p>●話題についての自分の考えが読み手に伝わるように、自分の考えとそれを支える理由を明らかにして文章を書くことができる。</p> <p>◇事実やそれを基に考えたことについて文章を書く。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 書きたい話題と自分の立場を決める。 3 考えを支える理由を整理する。 4 自分の考えと理由を効果的に伝えるための構成を考える。 5 読み手に分かりやすいように工夫して、文章を書く。</p> <p>【振り返る】 6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・考えとそれを支える理由との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・学習の見通しを持って、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にし、構成を工夫して、考えたことについて文章を書こうとしている。</p>	<p>・道徳科で、自分の考えたことを述べる。</p> <p>・考えと理由をメモで整理する。</p>
12	<p>本をしようかいしよう</p> <p>4時間(読4)</p> <p>教科書:下巻 P.68～71</p> <p>【言葉の力】 本を選ぶ</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 いろいろな種類の本を読む。(2下「どんな本を読んだかな」)</p>	<p>●読みたい本を選び、文章を読んで感じたことや考えたことを共有することができる。</p> <p>◇友達に読んでもらいたい本を選んで紹介し合う。</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 学習課題をつかみ、見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 読んでもらいたい本の内容と紹介する理由を考えながら本を選ぶ。 3 選んだ本を紹介し合う。</p> <p>【振り返る】 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(3)オ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや読書経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に、本を読んで感じたことや考えたことを共有し、読んでもらいたい本を選んで紹介し合おうとしている。</p>	<p>・生活の中の読書に生かす。</p> <p>・他教科等の調べ学習に役立つ本を紹介したり見つけたりする。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	俳句に親しむ 3時間(書1読2) 教科書:下巻 P.74～77	●易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ◇俳句について感じたことや考えたことを、文章にまとめる。 ----- 1 単元の学習の見通しを立てる。 2 五七五の音数や季語など、俳句の決まりについて知る。 3 教科書 P.75～77 の俳句を聞いて声に出し、暗唱したり短冊に書いたりして親しむ。 4 好きな俳句を選び、どこが気に入ったのかを短い文章にまとめる。 5 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア 【思・判・表】 ・「書くこと」において、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ 【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。	
1	心が動いたことを詩で表そう 3時間(書3) 教科書:下巻 P.78～81 【言葉の力】 心の動きを詩で表す ----- 【既習事項との関連】 観察したことを書く。(2上「かんざつしたことを書こう」)	●生活の中で心が動いたことを探して想像を広げ、そのときの心の動きが伝わるように、言葉を集めたり選んだりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ◇心が動いたときのことについて詩を作る。 B(2)ウ 【つかむ】 1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 教科書P.79の詩をもとに、詩を書く方法を学ぶ。 3 心が動いたことを思い出す。 4 詩に書くことを決め、そのことについて言葉を集める。 5 詩を書き、読み返して推敲する。 6 書いた詩を読み合い、表現のよさや工夫を共有する。 【振り返る】 7 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ 【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、進んで、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、心が動いたときのことについて詩を作ろうとしている。	
1	言葉でつたえ合う 5時間(話聞2書3) 教科書:下巻 P.82～87 ----- 【既習事項との関連】 ・話すことを選んで組み立てる。(3下「話したいな、わたしのすきな時間」) ・詩を書くときの言葉を選ぶ。(3下「心が動いたことを詩で表そう」)	●これまでの話し方や、文章の書き方を振り返り、よりよく伝える表現について考えることができる。 ◇考えたことを文章に書いて伝える。 ----- 【つかむ】 1 これまでの学習や体験を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。 【取り組む】 2 教科書の例文を読み、分かりやすく伝える方法について話し合う。 3 「すきな食べ物」について書いた例文を参考に、文章を書く。 4 さまざまな伝え方について知る。 【振り返る】 5 単元の学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア ・主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。A(1)イ ◎「書くこと」において、相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文や文章を整えている。B(1)エ 【主】 ・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、相手や目的を意識した表現になっているかを確認、文章を整えて、考えたことを伝えようとしている。	・総合的な学習の時間に、地域の人の前で話す。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>世界の家のつくりについて考えよう 人をつつむ形 ― 世界の家のめぐり</p> <p>11時間(読8書3) 教科書:下巻 P.88～101</p> <p>【言葉の力】 ものの見方や考え方をとらえる</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 知識や経験と結び付けて読む。(2下「あなのやくわり」)</p>	<p>●筆者の考えと、理由や事例との関係に気を付けながら、筆者のものの見方や考え方を捉え、感想や考えを持つことができる。 ◇読み取ったことを基に、考えたことを伝える。C(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 教材文を読み、筆者が紹介している世界の家のつくりについて考える。 3 整理したことをもとに、家のつくりの工夫と、その土地の特徴やそこに住む人々の暮らしとの関係について比べながら考える。 4 日本の土地の特徴や人々の暮らし方と日本の家のつくりについて、2つの観点から考え、まとめる。</p> <p>【振り返る】 5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・考えとそれを支える理由や事例など情報と情報の関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。C(1)カ ・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや他教科での学習経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、読んで分かったことや考えたことを伝えようとしている。</p>	<p>・理科や社会科で、他のグループのレポートを読み、感想や考えをもつ。</p> <p>・根拠を確かめながら情報を読み取る。</p>
2	<p>外国のことをしようかいしよう</p> <p>10時間(話聞10) 教科書:下巻 P.102～109</p> <p>【言葉の力】 話の組み立てや話し方をくふうする</p> <p>【おさえる】 「間」のいろいろなやくわり</p> <hr/> <p>【既習事項との関連】 調べて分かったことを伝える(3上「調べて書こう、わたしのレポート」)</p>	<p>●グループで調べたことについて、聞き手に伝わるように話の組み立てを考え、話し方を工夫することができる。 ◇調べたことを基に話したり、それを聞いたりする。A(2)ア</p> <hr/> <p>【つかむ】 1 これまでの学習を振り返り、単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 グループごとに計画を立てて調べる。 3 調べたことを整理して、取り上げる事柄を選ぶ。 4 話の組み立てを考えて、ポスターを作る。 5 説明の練習をして、みんなの前で発表する。</p> <p>【振り返る】 6 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・相手を見て話すとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。A(1)イ ◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことや他教科での学習経験を生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫して、調べたことを基に話そうとしている。</p>	<p>・社会科や総合的な学習で調べたことを発表し合う。</p> <p>・外国語活動で知ったことを手がかりに、調べたことを決める。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>物語のしかけをさがそう ゆうすげ村の小さな旅館 ——ウサギのダイコン</p> <p>12時間(読8書4) 教科書:下巻 P.110～125</p> <p>【言葉の力】 物や道具に気をつけて読む</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 物語の大体を捉えて、あらすじをまとめる。(3上「はりねずみと金貨」)</p>	<p>●物語で起こった出来事を読み取り、物語のしかけを見つけることができる。</p> <p>◇シリーズの物語を読み、同じところや違うところを見つけて伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 単元の学習の見通しを立てる。</p> <p>【取り組む】 2 物語の内容の大体を捉え、物語の仕掛けを探す。 3 「ゆうすげ村の小さな旅館——ウサギのダイコン」と比較しながら「クマの風船」を読む。</p> <p>【振り返る】 4 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増している。(1)オ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。C(1)カ ・「書くこと」において、目的を意識して書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・学習の見通しを持って、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、同じところや違うところを見つけて伝え合おうとしている。</p>	
3	<p>漢字の組み立てと意味</p> <p>2時間(知技2) 教科書:下巻 P.126～127</p>	<p>●漢字が部首と他の部分とによって構成されていることを理解することができる。</p> <p>-----</p> <p>1 部首について知るといふ学習課題を確かめ、漢字の共通する部分の名称と代表的な部首の種類について知る。 2 同じ部首の漢字から意味の共通性を知る。 3 部首について理解したことを確認し、学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ ◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ</p> <p>【主】 ・学習課題に沿って、進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることを理解し、部首と漢字が表す意味の関係について考えようとしている。</p>	
3	<p>「わたしのベストブック」を作ろう</p> <p>8時間(書8) 教科書:下巻 P.128～131</p> <p>【言葉の力】 文章のよいところをつたえ合う</p> <p>-----</p> <p>【既習事項との関連】 文章のよいところを見つける。(2下「『ことばのアルバム』を作ろう」)</p>	<p>●1年間に書いた文章の中でよく書けていると思うものを友達と読み合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。</p> <p>◇1年間で書いてきた文章の中から、特によく書けたと思う文章を三つ選んで、「わたしのベストブック」を作る。</p> <p>-----</p> <p>【つかむ】 1 単元の学習の見通しを立てる。 2 1年間の学習を振り返り、文章のよいところを見付けるためのポイントを出し合う。</p> <p>【取り組む】 3 自分で書いた文章を読み返して、文章のよいところを見つける。 4 友達が書いた文章のよいところを見つけて賞状を書く。 5 友達と互いの文章のよいところを伝え合う。</p> <p>【振り返る】 6 「わたしのベストブック」を作る。 7 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ ◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・これまでに学習したことを生かして学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けて、「わたしのベストブック」を作ろうとしている。</p>	